

問 白馬村のグラウンドデザインとは

答 村民憲章で、それを遵守していくこと



津滝俊幸 議員

【行政計画の事業進捗状況】

行政計画の事業検証は出ているか。

過去には、計画策定には力は注いだものの、中々検証に至らないこともありまし

た。その反省も踏まえ、平成20年度より事務事業評価を実施し、第5次総合計画から目標設定に対する評価に変え、内部、外部評価を実施し、評価結果を公表しています。

問 計画期間が過ぎている行政計画（白馬村地球温暖化対策地域振興計画・白馬村地域エネルギービジョン等）について、今後の対応は。

答 環境関係の2つの計画は、第5次総合計画へ継承さ

れ、現在COOL・CHOICE（賢い選択）宣言を行い、実施をしています（内容は広報はくばへシリーズで掲載）。

問 白馬村第5次総合計画・総合戦略の事業検証と進捗状況は。

答 内部（庁内）評価と外部（評価員）評価を実施し、内容を村HPにて公表しています。

評価委員からは事業が多く大変であるが、庁内連携を取り事業実施してほしい旨の要望がありました。

問 白馬村観光地経営計画の事業検証と進捗状況は。

答 観光経営会議を設け、継続的に取り組みへの評価や検証を行っています。年間3回の開催を予定しており、2回行った。評価の手法が確立されていない課題もあり、その成果を報告できる状態にありません。

問 地区懇談会での要望への対応は

答 優先度を見極め、迅速に対応します

【地区役員懇談会・行政懇談会について】

問 懇談会を終えて総論としての感想は

答 前向きな発言が多く、スムーズに懇談が出来たことは大変ありがたく感謝申し上げます。来年度へ向けて今回の懇談会を総括し更に良い内容とします。

問 主要な要望とその対策について

答 共通課題として「少子高齢化による普請作業要員不足・区運営の不安と閉塞感」「区未加入者の防犯灯等の区有施設利用の不公平感」「若者が村に残れるような仕組みづくり」「道路水路等の維持管理」「ゴミの地区集積場の利用方法」など。対策とし



地区役員懇談会において、各地区の住民より要望を聞く

て移住定住への取組み、サテライトオフィスの誘致、雇用対策や創業支援など人口増への施策を官民共通の課題として取組みます。

問 要望に対する地区へのフィードバックは

答 課長会議で方針を決定し、庁内で情報を共有します。検討した対策について各区へ伝えるよう各課長へ指示をします

た。中には時間を要する事案もあるのでご理解願います。

問 地区役員の負担軽減については

答 出された意見を踏まえ、地区役員の負担軽減を来年度は見直していきます。